

# 施政方針

2月20日に開会の令和2年第1回  
ふじみ野市議会定例会で、市長が表明  
した施政方針を通して、新年度の市の  
政策方針の概要をお知らせします。

ふじみ野市長

高畑 博



(仮称) 東地域文化施設多目的棟 (現在の上福岡公民館・コミュニティセンター) の完成イメージ

昨年は皇位継承が行われ、「令和」の時代の幕開けとなりました。  
平成の時代は、人口減少・少子高齢化社会にみる人口構造の変化や、IT革命といわれるほどの先端技術の急激な進歩などにより、人びとの生活様式や価値観の多様化が大きく進んだ時代となりました。このような世の中の流れは、令和の時代も止まることなく、私たちの社会生

活にさまざまな形で新たな変化をもたらすものと考えられます。  
こうした新たな時代への転換期におきまして、今を生きる市民の皆さまはもとより、次代を担う方がたのためにも、このまちをさらに住み良いまちへと発展させ、輝くふじみ野市の未来のために全力を尽くさなければならぬとの思いを胸にしたところで

さて、東洋経済新報社の「都市データパック2019」によりますと、ふじみ野市は「住みよさランキング」におきまして、再び県内第1位となりました。  
しかし、この結果はあくまでもさまざまな指標に基づくものです。市民の皆さま一人一人が、ふじみ野市に愛着を感じ、住み良さを実感していただいでこそ真に誇れるまちであると思っております。

令和の時代も誰もが住み良さを実感し「夢と希望にあふれる故郷ふじみ野」に向けて、これからも市民の皆さまと共にまちづくりを進めてまいります。

## 絆を紡ぐ 地域づくりに向けて

と、昨年は気候変動が危惧される中で、9月から10月にかけて立て続けに台風が上陸し、各地で大きな風水害をもたらした。多くの尊い命が失われ、台風15号では、記録的な強風により送電網が損傷、千葉県を中心に広域にわたる停電や屋根などの家屋被害をもたらしました。また、東日本を直撃した非常に強い台風19号では、各地で記録的な豪雨により県内をはじめ、東日本各地の多数の河川で決壊や氾濫などを引き起こし、大規模な浸水被害をもたらしました。

本市におきましても、多くの世帯で浸水被害が発生いたしました。今後も激甚化する自然災害は、常態化しつつあるとされており、さらなる備えの強化を進めてまいります。



昨年11月に完成した第2運動公園



第8回総合防災訓練の様子

そして、災害に備える上で何よりも大切なことは、命を守る行動です。まず、自らの命を守る「自助」。そして、その守られた命でみんなの力を合わせて地域を守る「共助」。この「共助」の力を揺るぎないものとして、さらに行政や防災関係機関などが果たすべき役割である「公助」。この「三助」を実践していくことにより、市民の皆さまと共に、強い地域防災力を築き上げていくことです。  
市民の皆さまには、ぜひ、日ごろからさまざまな地域活動に積極的に参加していただき、顔の見える関係を構築し、さらに強い地域力を育んでいただきたいと思います。  
市としても、これまで以上に世代を超えた地域の絆づくりを全力で支援してまいります。

## 令和と共に躍動する ふじみ野市に向けて

本 市では、昨年11月に第2運動公園が完成したことにより、予定していた市内の運動施設の整備が完了し、運動や各種スポーツに親しんでいた

く環境が一層充実したところで、これまで積み重ねてきた元気・健康都市としての取り組みを継続しつつ、一新した運動施設を市民の皆さまに大いに利用していただき、さらなる健康の維持増進に向けた契機としていただきたいと思います。  
また、運動施設の整備に続き、これからは文化施設の更新整備を順次進めてまいります。  
まず、ことし4月より「上福岡公民館・コミュニティセンター」の大規模改修工事を実施いたします。新たな施設が、これまで以上に魅力ある施設として、あらゆる世代の皆さまに、さまざまな文化や芸術、趣味の活動を通して交流を深め、親しまれ愛される施設となるよう努めてまいります。

令和という言葉には「人びとが美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ意味が込められている」といわれております。  
ふじみ野市におきましても、令和の時代と共に、市民の皆さまが心を通わせ合いながら、一層躍動していただけるような環境づくりを進めてまいります。

# 令和と共に躍動する ふじみ野市に向けて